

社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動をご紹介します。

近畿ろうきんは、社会貢献預金(笑顔プラス)の取組みをととして、被災地支援や障がい者支援、子育て支援、女性・マイノリティ支援、環境保全、国際協力などの活動を行う、NPO・市民団体を応援しています。

NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク(京都地区) 《地域づくり・防災》

理事長 牧 紀男



私たち京都丹波・丹後ネットワークは、人と人の信頼を礎に、地域の誰もが自分らしく活動し、課題に向き合える「誰もが暮らしやすいまちづくり」をめざすNPO法人です。昨今の物価高騰や孤独・孤立の問題に対し、私たちは多角的な支援を展開しています。具体的には、生活が困窮するひとり親世帯等への「フードパントリー事業」をはじめ、地域住民としての「外国人や外国にルーツを持つ子どもたちへの支援」、そして「誰もが助かるための防災支援」に注力しています。

活動の根底にあるのは、多文化・多世代が共に助け合い、共に未来を創り上げる「共生・共創」の精神です。多様な背景を持つ人々が手を取り合い、一歩ずつ理想の地域像に近づけるよう歩みを進めています。

今後は、ICTや生成AIを孤独の解消や防災に役立てるための講座も実施予定です。最新技術を誰もが使える「安心



のツール」として普及させ、デジタルの力で地域の絆をさらに深めてまいります。皆様の温かいご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

NPO法人 ここ(大阪地区) 《子ども支援・不登校対策》

理事長 三科 元明



「不登校になれてよかった!」

フリースクールに通う生徒が言った言葉です。

NPO法人ここは、いじめ・貧困・虐待・発達障がい・精神疾患など様々な背景を持つ不登校の子どもたち(小学1年生から高校3年生)の学習・生活・居場所支援をしています。不登校の子どもたちは、全国で約35万人となり、虐待の認知件数や自殺も過去最多を更新し続けています。また、学校にいけるかどうか子どもにとって生死にかかわる問題にも繋がるため、これらの社会課題の解決をめざしています。

「学校に行けなかったからこそ出逢えた人や経験」をととして、不登校を乗り越えるべき壁として捉えるのではなく、前向きな糧として育むことができるようになります。学習支援や体験活動はもちろん、職業体験や仕事のお話などで、私た



ちと一緒に不登校の子どもたちの成長を後押しする仲間を募集しています。

人をむすぶ、こころをつなぐ



社会貢献預金(笑顔プラス)は、「預金者の寄付負担(金利引下げ分の利息相当額)」と「ろうきんの拠出金」の合計額を地域のNPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。

※商品の詳細は、当金庫ホームページをご覧ください。また店頭の商品説明書をご用意しています。

近畿ろうきんFacebookページ
<https://www.facebook.com/kinkirokin/>



近畿ろうきんFacebookページでは、社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動状況などを随時公開しています。